

能登半島地震 主な関連コンテンツ

NHK
G

クローズアップ現代 迫る「災害関連死」の危機 能登半島地震・被災者をどう守る

【放送予定】 **本日**、1月17日(水) 午後7時30分～午後7時57分

能登半島地震から2週間余り。今、強く懸念されているのが、生活環境の悪化で肉体的、精神的負担が重くのしかかり、やがて命をも奪う「災害関連死」だ。その数が最も多くなるのは発災後1か月以内。被災地は今まさに瀬戸際に立っている。

「災害関連死」の概念が生まれたのは、今年29年目となる阪神・淡路大震災。900人以上が関連死と認定され、全死者に占める割合はおおよそ15%に達した。番組では29年前の震災の知見を携え現地入りする医療チームに密着。阪神大震災のときは関連死の4割がインフルエンザだったことから、まずは感染症対策に万全を期すという。しかし現地での難問は山積している。

一刻の猶予もない危機に直面する現場からの最新報告、そして被災者を「災害関連死」から救うための喫緊の対策を専門家とともに考える。

※1月31日も地震から1か月を迎える被災地の状況についてお伝えする予定です。

NHK
G

R1

NHKスペシャル 能登半島地震 いのちの危機をどう防ぐ

【放送予定】 **1月21日(日)** 午後9時～午後9時59分



最大震度7を記録した能登半島地震から3週間。被災者の心身の疲労は限界に近づいている。「災害関連死」の増加が懸念される中、震災を生き延びた命を守るために何が必要なのか？番組では被災地の声に耳を傾け、健康を維持し生活を支えるために必要な様々な情報を届ける。特に災害時大きな影響を受けやすい、高齢者、子ども、障害のある人、日本語の不自由な外国人などに向けた情報にも留意。支援からこぼれ落ちる人を出さないための施策を医療・健康、児童心理、学習支援など多様な分野の専門家とともに考え、発信する。

また、テレビの地上波放送が地震被害で届かない地域や、電気が不足してスマートフォンなどでの情報収集が困難な地域にも情報を届けるため、ラジオ第1放送でも同時間帯に、適宜、補足をはさみながら放送する。

被災地の在留・訪日外国人に役立つ災害・生活情報の提供

- ◆「NHKワールド JAPAN」ウェブサイト内に生活情報サイト(英語)を開設。ライフラインや避難所、医療に関する自治体等の情報のほか、災害関連死を防ぐための健康情報を発信している。

また、被災地で話者の多い4言語(中国語、インドネシア語、ポルトガル語、ベトナム語)でも、「能登半島地震・関連情報まとめサイト」を開設。停電や断水時の対応、自治体の多言語相談窓口の情報等を紹介している。



News Top Japan Features Weather Earthquake

USEFUL INFO

Staying safe and healthy after the Noto quake

43 min ago

Survival information and guidance from experts.

[能登地震相关信息](#) | [Tip Pascagempa Noto](#) | [Informações sobre o terremoto de Noto](#) | [Thông tin hữu ích sau động đất Noto](#)

- ・中国語
- ・インドネシア語
- ・ポルトガル語
- ・ベトナム語

での「能登半島地震・関連情報まとめサイト」へのリンク

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/backstories/2949/>



NHKは、国連とメディアが共同で実施するキャンペーン「1.5℃の約束 - いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。」に参加しています。

NHK の最新のプレスリリース 経営／コンテンツ・サービス
<https://www.nhk.or.jp/info/>

※「どーも、NHK」X(旧 Twitter) (@nhk_domo_nhk) でも情報発信しています

